

目標達成計画

事業所名：グループホーム添寿の里

作成日：令和5年11月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
	2 (2)	コロナウィルス感染拡大の懸念が完全に払拭されるまでにはまだ時間を要すると思われるが、その中でも、読み聞かせや踊りなどのボランティアや、学生の実習などの受け入れは進めている、と聞く。地域との交流の機会を増やすべく、構想を練り準備していただきたい。	地域との交流の機会を少しでも増やすように計画をする。	11月に添田町の福祉施設が合同で第2回福祉まつりを開催し、可能な限りの入居者様に参加を促し、6名の入居者様の参加が実現できた。今後も参加者を増やしていきたい。	6 か月	
	4 (3)	コロナの状況との睨み合わせにはなるが、定例開催の再開にあたり、改めて参加者の顔触れ(家族の出席者は一部変更を行った、と聞く)や議事内容の充実を図って、意見をサービスに生かしていただきたいと期待します。	運営推進会議のご家族の参加を促すと共に、健全なご意見を頂けるよう配慮し、サービスにいかしていきたい。	運営推進会議にご家族様に出席して頂けるよう声掛けを行う。また、欠席の方でも文章や口頭・電話にて意見を頂けるように努め、サービスの向上に活かしたい。	6 か月	
	10 (7)	今後家族会は、もとおりの年2回のペースでの開催を予定している(次回は12月とのこと)。運営推進会議との同日開催も効果的で可。家族から多くの意見がなされ、また家族の横のつながりができるような取組がなされることを大いに期待したい。	運営に関するご家族様等意見の反映が出来るようにする。	引き続き年2回のアンケートの依頼とご面会、時ご家族様からの要望があれば職員会議などで再度話し合いを行い、可能な限りご希望に添えていきたい。	12 か月	
	14 (10)	講師派遣の利用もよろしいかと思えます。今後の取り組みに期待します。	入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組める様講師派遣を試みると共に、人権教育機関からビデオをお借りし研修等に努めたい。	入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組める様講師派遣を試みると共に、人権教育機関からビデオをお借りし研修等に努めたい。	12 か月	
	22 (11)	コロナの状況次第だが、一時帰宅や外泊についても、今後前向きな対応を考えていると聞く。馴染みの継続につながる効果を期待します。	法人内同一の感染対策を行っている。一時帰宅や外泊はできる体制を考えていきたい。	法人内で外出・外泊が許可できるようになれば、ご家族様に外出・外泊をお願いし、馴染みの関係を継続できるようにしたい。	24 か月	
	37 (16)	事業所の訓練の際、家族や近隣住民に参加してもらい、事業所の防災体制が万全である事を理解していただければいかがでしょうか。第三者が見て感じたところの意見を取り入れていくと、地域との協力体制の充実にもつながるのではないのでしょうか。	事業所の火災訓練にご家族様や地域住民に参加していただく。	10月の運営推進会議当日、会議前に役場職員・地域住民・包括の職員・近隣施設の職員に火災訓練に参加をしていただいた。今後も年2回は実行していきたい。	12 か月	
	51 (21)	無理のない範囲で、少し足を延ばして、印象に残る外出ができれば良いと思います。またその時には家族の協力も打診してみたいかがでしょう。	少し遠方へ足を延ばせるように試みる。	行橋網敷神社や大宰府天満宮・日田の高塚地蔵尊など遠方へ希望者のみ外出出来る体制を試みる。	24 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )